

【工夫のポイント】

- ①米中心の営農体系からネギやレタス等の高収益作物を導入した営農体系へ転換し、収益性(販売額)の向上が図られた。
- ②水田の畠地化・汎用化を契機に地区外の農業法人を地区内に呼び込み、未利用農地(耕作放棄地)の有効活用が進んだ。
- ③農産物直売所への販路拡大による地域活性化が期待される。

区画整理済の水田地域において水田の畠地化・汎用化を図ることにより高収益作物が導入可能に

○整備後 [水田畠地化面積(H30～) +16.7ha]

- ・排水路や暗渠排水の整備
- ・水稻の隣接地でも高収益作物が栽培可能



○整備前

- ・基盤造成から30年以上が経過
- ・排水不良により水稻以外の作付けができない状況

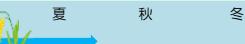
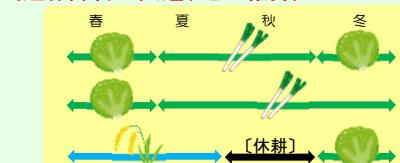


【取組地域の概要】

- 位置
・茨城県 坂東市
西総、鶴戸沼、初崎地区
- 地区面積
・西 総: 363ha
・鶴戸沼: 597ha
・初 崎: 69ha
- 主要作物
・水稻、レタス、ネギ
- 主な支援施策
・ほ場整備事業[造成事業]
【県 営】西総地区、鶴戸沼地区
(S46～S57) (S55～H6)
【団体営】初崎地区(S54～S60)
・水田畠地化推進事業
【県 単】西総地区、長須地区、
外沼地区、初崎地区(H30～)

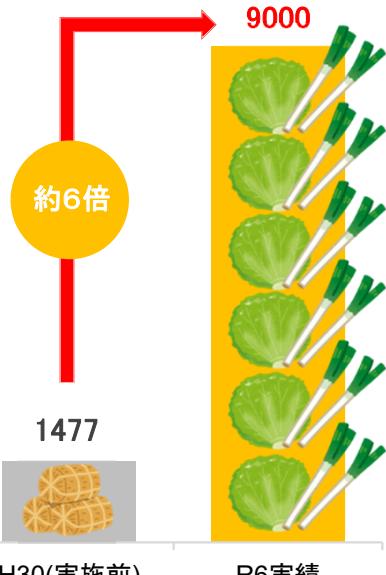
営農体系の転換

水稻単作

水田裏作
[農地の有効活用]周年栽培+輪作
[連作障害の回避、地力維持]

収益性(販売額)の向上

(単位:千円)



(出典: R6実施状況報告書に基づく試算)
※西総地区で整備した水田1.2haの販売額

販路拡大による地域活性化

交流施設(農産物直売所)
「坂東将門の里」



JA

販路

青果
市場

- 従来の販路に加え、農産物直売所を備えた交流施設が坂東市により開設された。
- 地元生産者による農産物直売所への出荷が開始され、今後の地域活性化が期待される。